

## 名作を知り、学ぶ ～読書週間限定ヤン猿のしおりから～



“良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話を  
かわすようなものである” by デカルト『方法序説』から



10月27日から11月9日までの秋の読書週間にちなんで、ヤン猿の「おみくじ♡しおり」を配布しました。今回配布したしおりには、名作といわれている文学作品の書き出し文を添付しました。その中から今回は2つの作品をご紹介します。

☆『野菊の墓』伊藤左千夫／著 1984年 新潮文庫 B 913.6／イト  
”時代”を学ぶ！



主人公の政夫（15歳）と従姉弟同士の民子（17歳）の儂い悲恋のお話です。

なぜ、民子が悲しい結末を迎えなければいけなかったのか。この作品が描かれた背景には明治時代の「家」制度が大きく関わっています。自由に恋愛できる現代とは違い、結婚の相手を家が決定する時代でした。貧しい農村の日々の暮らしや“ムラ社会”が小説から垣間見ることが出来ます。本を読みながらその話の背景に流れる「時代」も一緒に学んでみると、より印象深く作品が心に残ります。

☆『二年間の休暇』ジュール・ヴェルヌ／著 1978年 福音館書店 K95ベ  
”困難な状況”に学ぶ！



この本は『十五少年漂流記』というタイトルで親しまれているので、知っている人も多いかもしれません。8歳から14歳までの15人の少年を乗せた“スラウギ号”が嵐の海を漂流し、無人島に流れ着いてしまうところから物語は始まります。生命の危険と直面し、先の見えない極限状態の中、少年たちは決して希望を失わず、団結してそれぞれ自分のできることに一生懸命取り組みます。特に年長の少年達が見せる知恵と勇気と思いやりには学ぶべきところが満載です。

平成26年11月15日発行 編集・発行 NPO法人市民の図書館・公民館こがねい YA・若者コーナー担当

公民館TEL：042-385-3401 / 図書館TEL：042-385-3561

〒184-0015 東京都小金井市貫井北町1-11-12 貫井北センター HP <http://www.ntk-koganei.org/>



## ● 今月のテーマ「学ぶ Part2」●

小金井市立図書館貫井北分室YAコーナーへようこそ！



### ビブリオバトル開催されました！

11月1日(土)、大学生の部4名、高校生の部4名が参加して熱いバトルが繰り広げられました。素晴らしい発表に会場が盛り上がる中、この2冊がみごとチャンプ本に選ばれました！



大学生の部 **大淵 美貴さん**  
『長い長い殺人』  
宮部みゆき／著 1992年 光文社



宮部みゆきファンの大淵さん、この本は財布が語り手というところに興味を持ったそうです。ひとりでも多くの人にその本を知ってもらい読みたいと思ってもらえたことがとてもうれしと話してくれました。



高校生の部 **小林 甲次郎さん**  
『数学ガール』 結城 浩／著  
2007年 ソフトバンククリエイティブ



ビブリオバトル初挑戦の小林さん、この『数学ガール』は、進路選択を決めた、まさに“人生を変えた本”なのだそうです。面白い本を解説付で教えてもらえるところがビブリオバトルのいいところだと話してくれました。

他にもこんな本がエントリーされました。 \*図書館に関連本と一緒に展示しています。

☆『春になったら莓を摘みに』 梨木香歩 新潮社 ☆『クラウド・アトラス』 ティヴィッド・ミッチェル 河出書房新社

☆『吉野北高校図書委員会2』 山本渚 KADOKAWA ☆『ぼくのメジャースプーン』 辻村深月 講談社

☆『アラスカ光と風』 星野道夫 福音館書店 ☆『キャリア教育のウソ』 児美川 孝一郎 筑摩書房